

2014年(平成26年)4月23日(水曜日)

幼い命の安全確保を

党名古屋市議団

市長に ベビーシッター調査求める



河村市長(左端)に申し入れを行う党名古屋市議団

公明党名古屋市議団(福田誠治団長)は7日、市役所内で河村たかし市長に対し、「ベビーシッターの実態に関する緊急申し入れ」を行った。これは、埼玉県でベビーシッターに預けられていた2歳の男児が死亡した事件を受けたもの。

席上、福田団長らは「幼い命の安全の確保は、最優先されるべきものだ」と強調した上で、①市独自のベビーシッター実態調査②ベビーシッターの利用に当たっての注意点をまとめ、利用者への注意喚起③認可外保育施設を調査し、適切な指導監督——の3項目を求めた。

これに対して河村市長は、ベビーシッターの利用に関する「情報受付電話」を新たに開設し、トラブル事例などの情報収集や注意喚起を行う意向を示した。

加えて、福田団長らはベビーカーマークの早期導入についての申し入れも行い、市バスや地下鉄などに、周囲の人にベビーカーへの配慮を呼び掛ける「ベビーカーマーク」を早期導入するよう要望した。